



農業

所属 長生農業事務所改良普及課

入庁年 2018年

異動歴 2018年
農林水産部農地・農村振興課
2020年
長生農業事務所改良普及課

1 仕事の内容は？

農業職は現地で農家へ栽培技術指導・経営指導などをする「普及指導」、新たな品種や栽培技術等の開発・研究を行う「試験研究」、農業施策を企画立案する「農業行政」が主な業務であり、多方面から千葉県農業振興に取り組んでいます。現在の私は、長生地域で水稻・落花生・小麦などの作物担当として「普及指導」業務に従事しています。業務内容としては、日々担当地域の水稻生産者などを訪問し、栽培指導や経営指導を行うほか、田んぼでの生育調査や新技術の現地調査、研修会の開催、農協や市町村などの関係機関と連携した地域課題の解決など多岐に渡ります。農家の経営がどうすれば向上するのか、将来に向けて地域農業をどうやって維持・発展させていくのか、考えながら業務に従事しています。

2 志望理由は？

農家と直接関わる仕事を求め、農業が盛んな千葉県を志望しました。多品目の栽培が盛んで、消費地の東京に近い点も魅力です。かつて住んでいた経験から、千葉県への愛着や生活のしやすさを感じていたことも志望理由の一つです。

3 仕事のやりがいは？

やりがいを感じるのは、農家の方から「ありがとう」と感謝される瞬間です。正解がない仕事に悩みながらも、技術や経営の指導が実を結び、「あなたのおかげで上手くいった」と言われると自信が持てます。

4 印象に残った仕事は？

農家から相談を受け、地域に合う水稻の品種を調査し試験を実施しました。1年目は1件、2年目は2件での試験に留まりましたが、結果を研修会で周知したところ、3、4年目に栽培農家が増加し、農協など関係機関と連携して新品種を地域に定着できたことです。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

千葉県に入庁した時には、名前も読めない市町村があり、自分がこれまで接してきた千葉県は一部だったのだと思いました。農業職は千葉県の都市部ではなく、農村地域を訪問することが多く、千葉県の自然の豊かさを感じることができます。また、千葉県は小さな日本といわれるほど様々なものや環境が揃っています。県内でも北部と南部、沿岸部と山間部では気候や自然が異なり、自然豊かな観光地からテーマパークなどの都市型観光地、成田空港からの国内国外へのアクセスの良さ、おいしい物の宝庫でもあります。また、県職員の先輩や同僚、地域の農家の方からの口コミ情報で、ネットや雑誌にも紹介されていない名店や隠れた観光スポットなどたくさん発見することができます。

6 職場の雰囲気は？

若い職員が多く、活気のある職場です。老若男女関わらず活躍する場がある職場で、日々仕事に関する意見交換も活発に行われています。また、私は第一子誕生の際に3か月の育児休業と復帰後2か月の育児短時間勤務（週3日勤務）を取得、現在も保育園の送迎に合わせた時差出勤も活用して、仕事と育児の両立に取り組んでいます。近年男性の育児休業の取得率も上がっており、若い職員も多いことから理解が得られ、子育てしやすい環境であると感じています。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、家族で近所の公園に行ったり、県内の観光スポット巡り、担当地域での開催されるイベントに参加しています。計画的な有給休暇の取得が推奨されており、平日に休みをとって休日では混んでいて行きにくいスポットに行くこともあります。カレンダー通りの休みなので、先の予定も組みやすいのが魅力です。千葉県は広くまだまだ行ってみたい場所やお店がたくさんあります。

8 一日のスケジュール

※休憩時間の特例措置（中学校就学前の子の育児）活用により昼休みは45分。
退庁時間を15分早めている。

- 8:30 ● 出勤 メールやスケジュールの確認
- 9:00 ● 水稻栽培試験ほ場の生育調査
- 12:00 ● 昼休憩
- 12:45 ● 水稻農家巡回・経営指導
- 15:00 ● 生育調査結果とりまとめ、栽培指導資料作成
- 17:00 ● 退庁

